

2025 年度 事業計画書

 nippon.com

公益財団法人ニッポンドットコム

I. 方針

当財団は社会に対して果たすべき役割及び事業の方向性を明確にするための財団パーパス「7つの言語にのせて日本を世界へ〈つたえる〉〈つなげる〉〈ささえる〉」に基づき、記事の発信によって実現してきた〈つたえる〉を中核として、対外発信力を高めるために人や組織を〈つなげる〉懸け橋として、国際社会で羽ばたく人材や日本のプレゼンスを高める活動に〈ささえる〉という思いを込めて活動をする。

2024年度、世界ではトランプ氏がアメリカ大統領に再任。ウクライナとロシアの紛争はトランプ大統領の大胆な路線変更が国際社会に波紋を広げる中、復興支援の議論も活発化している。また、AI技術の進展により、多くの産業で自動化が進み、労働市場に大きな変革をもたらしている。

日本国内ではインバウンド需要の回復が見られるも、人手不足や出生率の著しい低下等の事象が顕在化するなど、依然として解決すべき課題が山積していることから、経済の回復とデフレ脱却に向けた施策が求められている。

このような背景を踏まえ、当財団は公益法人が運営する多言語発信 Web サイトとして国際世論に働きかける活動の一端を担うため、2025年度は、戦後80年、昭和100年に当たる節目を迎えることをふまえ、これまでの日本を振り返り、これからの日本を考えるべく、「日本の課題」「ジャポニズム」という2つのテーマを主軸に据えたコンテンツ配信に努める。

また、日々グローバルに変化するインターネットメディア環境に対応するため、SNSや動画の活用を一層充実させる。

【nippon.com 編集指針】

- ・ 正確で公正な情報を発信する
- ・ 独立した立場からの自由で責任ある編集方針を堅持する
- ・ 人権、名誉、プライバシーを尊重する
- ・ 特定の個人・団体への利益誘導を厳に慎む
- ・ ありのままの日本を多様な言語を通じて広く世界に発信し、国際的な相互理解に貢献する

II. 事業実施計画

【公益目的事業】

当財団は設立後間もない時点において、まずはメディアとしての信頼性の確保を重視し、約8年にわたり国内におけるドメインパワーの獲得を意識してきた。しかし、昨今のWebを取り巻く著しい環境変化に対応するうえで、これまでの施策を見直すこととした。

2025年度からは、「海外における日本からの情報発信強化」という所期の目的を達成するため、‘受け手’志向をより重視して海外ユーザーデータの解析をコンテンツ制作に積極的に生かして情報発信を強化するとともに、SNSを戦略的に活用することで、「nippon.com」の認知度向上と海外発信メディアとしての価値を高める。

1. 多言語情報発信サイト「nippon.com」の運営

(1) コンテンツ制作

これまで、幅が広すぎて分かりにくかったカテゴリーを見直し

「nippon.com」の個性が際立つように工夫するとともに、より受け手の興味・関心に応える制作を意識した編集方針を以下のように定める。

① サイトの性格を明確化

海外ニーズを踏まえた「日本の課題」、および海外から日本への関心に応えるテーマを「ジャポニズム」として取り上げ、コンセプトの2本柱とすることで日本のファンを拡大する。

② ユーザーデータの解析に注力した配信の強化

ユーザーデータの分析に基づく記事の制作および配信のサイクルを繰り返し、データ分析の精度を向上させ、ユーザー満足度を高める。

編集方針に基づき、海外からの関心の高い「仏像」や「民俗」に関する写真コンテンツのほか、地方再発見、戦後80年などをテーマにユーザーの興味に応える大型企画を公開し、ファン層の拡大を図る。

(2) 海外発信

編集方針に沿って、以下の3点に注力して取り組む。

① 情報のテーマ性を重視した発信

海外ユーザーに知ってほしい情報（「日本の課題」）と海外ユーザーが求める情報（ジャポニズム＝「日本の魅力」）を2本柱に、タイムリーかつバランス

のよい情報を発信する。

②言語別傾向への対応を精密化

データ解析の結果を翻訳記事の選定基準に取り入れ、各言語圏ユーザーのニーズに適合した情報を発信する。

③翻訳リソースの拡充

AI を編集作業に適宜取り入れ、効率化しながら外部翻訳者のネットワーク強化や人材の育成を図る。

(3) 配信強化策・広告戦略・SNS 戦略

編集方針に定める配信強化のための施策として、以下に取り組む。

①記事データを収集し、海外ユーザーの属性等を分析

言語別のデータからユーザーのニーズや興味、関心を分析し、潜在的な属性を掘り起こす

②分析結果をコンテンツの制作・翻訳チームへフィードバック

特に英語圏が関心を持つ領域を特定し、注力すべきコンテンツを抽出する

③広告戦略の最適化

言語別の状況に応じた広告費の配分やメールマガジンの強化、英語サイトを優先とした SEO 対策を講じる

④SNS 戦略の構築

最新トレンドを把握し、新たな戦略を構築し、外部コンサルのアイデアを取り込みながら実践する

(4) 「nippon.com」サイトの改修

①上記の施策をより有効とし、滞在率の高いPVを目指し、ユーザービリティの高いサイトに改修する。そのためにサイトの特徴や魅力が伝わるグローバルナビゲーションを設定

②読みたい記事がすぐに見つかるデザインへ変更

③SNS との連携を強化した機能改修

環境変化に応じて柔軟にカスタマイズできる仕組み

(5) 管理運営

上記の業務を効果的に実施すべく組織体制を整えるとともに、働く環境や情報セキュリティの整備に引き続き取り組む。

①人員配置/組織体制整備

組織体制計画を立てるとともに、2025年度も海外発信部のサポートとして東京外語大と協定を結びインターンシップ事業を継続し、事業の安定化を目指す。

②働き方の環境整備

目標管理・評価制度の導入を着手し、事業の効果的な実施のための環境整備を行う。

③情報セキュリティの強化

情報セキュリティ委員会の開催や、巧妙化する犯罪やインシデント対策を継続する。

併せて、情報セキュリティに対する意識向上のための役職員研修を続行する。

(6) 広報活動

財団パーパスの<つなげる><ささえる>を担うため、2025年度は以下の項目に取り組む。

- ①国際機関や理念を共有し協力できるパートナー企業・団体との連携を強化する。
- ②外部スタッフやインフルエンサー、留学生とのネットワークを構築する。
- ③ファン層の拡大に向けて「nippon.com」の広報ツール等を制作する。
- ④スタジオ事業を通じたネットワークを強化する。

2. 放送・編集設備を活用した公益法人等の情報発信への協力

スタジオの整備を進め、利便性の向上を図ることで、公益団体に対する放送・編集設備の貸与を推進して情報発信に協力する。また、他の公益団体の多様なニーズに応えるようコンテンツの制作・編集等をサポートしていく。

【収益事業】

当財団では、多言語 Web サイト「nippon.com」で蓄積したノウハウを活用して、さまざまなコンテンツを制作する収益事業を実施しており、その収益を公益目的事業のために活用している。収益事業の実施にあたっては効率的な業務推進体制を強化することで、適切な収益の確保を目指している。

近年、グローバル発信において動画を含めたビジュアルコンテンツの重要性が高まっており、コンテンツ制作事業においても、マルチメディアコンテンツの

制作に注力するとともに、そこで得た知見を多言語 Web サイトのコンテンツ制作に活用する。また、グローバルに活躍する多くの企業や団体において、そのコンテンツ制作を支援する。

併せて、公益法人等においてオウンドメディアによる情報発信の強化が求められており、収益事業で培った web 発信のノウハウを活用し、公益法人の発信力強化に貢献する。なお、事業の実施にあたり、今年度は以下の点に注力する。

- ①ビジュアルコンテンツ制作におけるノウハウの集積
- ②財団公式サイトおよびデジタルツールを活用した営業活動の強化
- ③外部スタッフ拡充による制作力の強化

以上